



一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団  
The Japan Baptist Medical Foundation

# バプテスト眼科だより



Baptist eye clinic column 8

## 加齢黄斑変性

部分的に・または中心が暗く見えたり、ものがゆがんだりしていませんか？

左右どちらか、片眼で物を見てみてください。普段からめがねをかけている方はかけたままをお願いします。部分的に・または中心が暗く見えたり、まっすぐのはずのものがゆがんで見えたりしていませんか？最近TVでもとりあげられている、加齢黄斑変性症によくある症状です。大事なのは片眼で見ること！両眼で見ていると気付かないことがあります。

加齢黄斑変性症は日本での視覚障害者手帳交付原因の第4位の疾患で、失明につながる病気です。カメラでいうフィルムに当たる網膜に起こる疾患です。網膜の真ん中にあり、ものの細かい部分や色を見分けるのに重要な部分である「黄斑」に異常が生じます。網膜は神経の膜ですので、一度傷んでしまうと現在の医学では完全に元には戻せません。



こんどう えり  
近藤 衣里

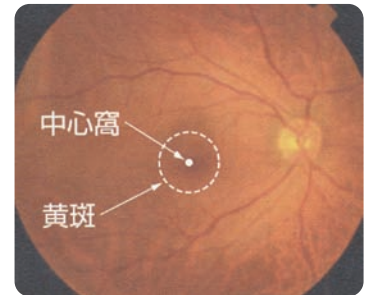
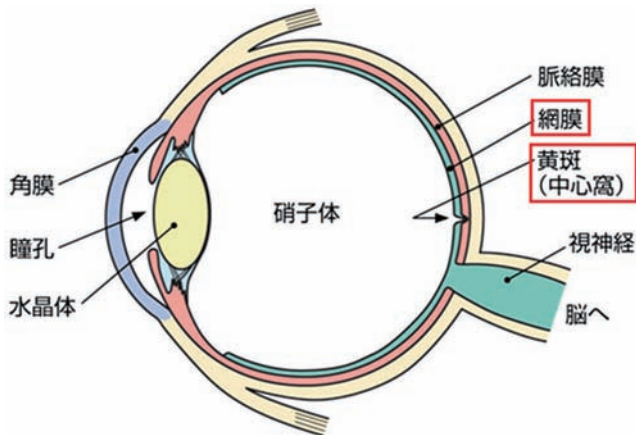
## 加齢黄斑変性 — 部分的に・または中心が暗く見えたり、ものがゆがんだりしていませんか？

欧米では成人失明原因の第1位、日本でも増加中で滲出型加齢黄斑変性症の患者さん数は、推定70万人といわれています。

主な原因は加齢ですが、喫煙が大いに関与しています。増加の原因は、人口の高齢化や生活様式（特に食生活）の欧米化と考えられています。

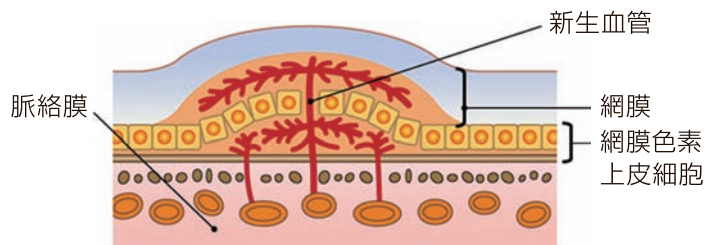
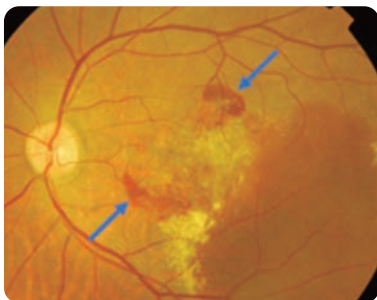
### 視覚障害者手帳交付の原因疾患

- |     |        |
|-----|--------|
| 第1位 | 緑内障    |
| 第2位 | 糖尿病網膜症 |
| 第3位 | 網膜色素変症 |
| 第4位 | 黄斑変性症  |
| 第5位 | 高度近視   |



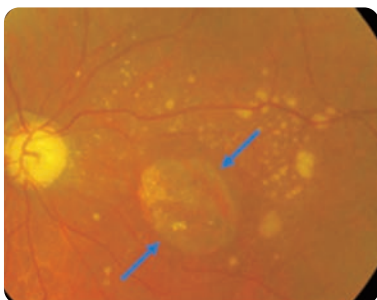
加齢黄斑変性には大きく分けて2つの型があります。

### 滲出型 (ウェット型)



- ・網膜の外側から異常な血管「新生血管」ができ、網膜に浮腫（むくみ）や出血を起こし、急激に視力が低下します。
- ・早期から症状がでます。
- ・失明する人の大半がこのタイプで、日本人に多いタイプです。

### 萎縮型 (ドライ型)



- ・黄斑が萎縮していきます。
- ・進行が遅く、ゆっくり視力が低下します。
- ・欧米人に多く、日本人に少ないタイプです。

加齢黄斑変性の症状は、部分的また中心が暗く見える、ものがゆがんで見える（変視症）、コントラストが低下する、などです。これにより視力が低下します。



はじめに	目次
加齢黄斑変性は米国をはじめとする欧米先進国において、成人時に発症する「失明」の第一位であり、国民の生活の質を低下させる原因の一つとして注目を集めています。病名が示す通り加齢に伴って発症する疾患であり、年齢が上がるにつれて発症率も高くなっていきます。そのほか「老眼」や「近視」といった目の病気と混同されることがありますが、原因も治療法も異なります。日本においても、加齢黄斑変性は人口の増加に伴って患者数が増加していき、将来的には男性の割合が多くなる傾向が予測されています。また病目に発症する割合も高くなっていきます。	① 加齢黄斑変性とは — 4 眼の構造と働き 加齢黄斑変性（学名と略称）
	② 検査方法について — 8 眼底検査 視光検査
	③ 滲出型加齢黄斑変性の治療法について — 10 光線力学的療法（PDT） レーザー光線療法 新生血管除去術 経九層膜療法 経瞳孔熱凝固療法 その他の治療法
	④ 滲出型加齢黄斑変性の自覚症状について — 14 加齢黄斑変性 進行期の症状 治療後の自己チェック法



## ● 加齢黄斑変性の原因

### 環境原因

- ・喫煙
- ・偏った食生活  
(野菜、果物など抗酸化作用のある食物の不足、  
“悪玉”と呼ばれる脂肪の過剰摂取)
- ・紫外線
- ・運動不足、肥満
- ・循環器障害  
(高血圧・動脈硬化・心疾患)

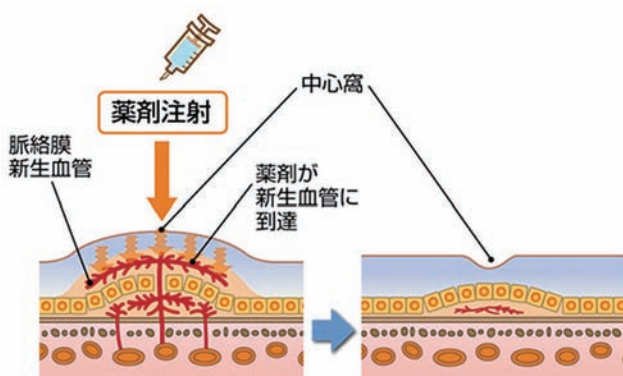
### 経年的原因

- ・年齢

### 遺伝的原因

- ・遺伝/家系
- ・性別(男性)
- ・虹彩の色が明るい

加齢黄斑変性の予防として、禁煙は非常に大切です。また食事・運動・ストレスなど、生活習慣に気を配る（亜鉛や抗酸化ビタミンが多く含まれている食品をとるように心がける）こともよいといわれています。滲出型加齢黄斑変性症の症状発生の予防のために、サプリメントを服用する場合があります。



当院で行っている滲出型加齢黄斑変性の治療は抗血管新生薬療法が多いです。「ルセンティス」や「アイリニア」という薬を眼に注射します。黄斑部出血やむくみの原因となる、新生血管の成長を活性化させる物質として身体の中にある血管内皮増殖因子（VEGF）の働きを抑えます。出血やむくみがひくことによりある程度視力が改善します。

片眼でみたときに症状のある方はぜひ眼科を受診して下さい。散瞳検査(瞳孔を広げる検査)が必要になりますので、車やバイクなどの運転は控えて受診して下さいと助かります。

## ● 屈折矯正手術 (レーシック) 説明会

バプテスト眼科クリニックでは月に1~2回、屈折矯正手術に関する説明会を実施しています。眼鏡やコンタクトに代わる屈折矯正手術について詳しくご説明いたします。



現在レーシック(LASIK)・エピレーシック・フェイクICKIOL(有水晶体眼内レンズ)などさまざまな屈折矯正手術があります。最近では円錐角膜も手術で治療可能になっています。

自分に本当に適した屈折矯正手術を選ぶために必要な基本的な知識を提供いたします。

近視や、遠視、乱視などで、お悩みの方は、是非お気軽にお越し下さい。



日 時: 土曜日 午後3時より(約1時間程度)

※日程はお問い合わせください

場 所: バプテスト眼科クリニック4F ホスピタリティールーム

参加費: 無料

## ● 特殊外来 (専門外来) のご案内

バプテスト眼科クリニックではより専門的な診察・治療に対応するために眼科の各分野にわたって特殊外来を設置しています。

	月	火	水	木	金	土
午前	緑内障 網膜		角膜	角膜 (第4週)	網膜	
午後	眼形成 (2・4週)	屈折矯正 (2・3・4週) 網膜	屈折矯正	角膜・ ドライアイ (月1回) 網膜	屈折矯正	屈折矯正

※特殊外来は休診の場合もありますのであらかじめお電話でご確認ください

**お問い合わせ TEL / 075-721-3800**

日本バプテスト病院の基本理念は**全人医療**です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

バプテスト眼科だより NO.8 2015年3月発行 発行/バプテスト眼科クリニック 編集/バプテスト眼科クリニック広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>